

## 新たにラムサール条約湿地に登録された国内湿地の概要

平成17年11月8日登録

登録湿地名	所在地	面積 (ha)	湿地の特徴	保護の形態	湿地の概要
雨竜沼湿原	北海道 雨竜町	624	高層湿原	・ 暑寒別天売焼尻国定公園 特別保護地区	北海道の中西部に位置。山地型高層湿原としては我が国でも有数の面積規模を誇る。湿原の中央にはベンケベタン川が多数の池塘群と浮島を縫うように蛇行して流れている。水生、湿原性及び高山性の植物群が混交するなど自然性の高い優れた景観を呈している。
サロベツ原野	北海道 豊富町 幌延町	2,560	高層湿原、オオヒシクイ、コハクチョウ渡来地	・ 国指定サロベツ鳥獣保護区 サロベツ特別保護地区 ・ 利尻礼文サロベツ国立公園 特別保護地区及び特別地域	北海道の北部に位置。泥炭地上に成立した高層湿原、中間湿原、低層湿原及び沼で構成。低地の平野部でよく発達した高層湿原が特徴。ベンケ沼及びベンケ沼周辺は水鳥の繁殖地、特に春秋にはヒシクイやコハクチョウなどガンカモ類の重要な渡りの中継地である。
濤沸湖	北海道 網走市 小清水町	900	低層湿原、湖沼、大規模オオハクチョウ・オオヒシクイ等渡来地	・ 国指定濤沸湖鳥獣保護区 濤沸湖特別保護地区 ・ 網走国定公園特別地域	北海道の東部に位置。砂嘴の発達によって形成された海跡湖であり、汽水湖である。また藻場や塩性湿地も発達している。また、ガンカモ類、シギ・チドリ類等の有数の渡り鳥の渡来地である。オジロワシ、オオワシの越冬が確認されているほか、タンチョウの繁殖も確認。
阿寒湖	北海道 釧路市	1,318	淡水湖、マリモ生育地	・ 阿寒国立公園特別保護地区 及び特別地域	北海道の東部の内陸部に位置。火山活動によって形成された広大なカルデラ湖。マリモなど希少な藻類の生育地であり、アジアにおける天然分布の南限となるヒメマスやイトウなどの魚類やカワシンジュガイなど二枚貝類の重要な生息地である。
風蓮湖・春国岱	北海道 根室市 別海町	6,139	汽水湖、低層湿原、藻場、タンチョウ繁殖地、大規模キアシシギ・オオハクチョウ等渡来地	・ 国指定風蓮湖鳥獣保護区 風蓮湖特別保護地区	北海道の東部に位置。風蓮湖は根室湾につながる汽水湖で干潟とアマモ場が発達。春国岱は、風蓮湖と根室湾の間に形成された砂州であり、アカエゾマツ林やハマナスの大群落が発達。これらの森林、草地、塩性湿地、干潟等は鳥類の良好な生息環境となっており、渡り鳥の渡来及び中継地として重要である。
野付半島・野付湾	北海道 別海町 標津町	6,053	塩性湿地、低層湿原、藻場、タンチョウ繁殖地、大規模コクガン・ホオジロガモ等渡来地	・ 国指定野付半島・野付湾 鳥獣保護区野付半島・野 付湾特別保護地区	北海道の東部に位置。野付半島は根室海峡に突き出した釣ばり状の砂嘴であり、その延長は日本最大で28km。野付湾は、野付半島と北海道本土との間に形成されている。湾内の平均水深は4mであり、広大な干潟及びアマモ場が形成されている。当該区域は渡り鳥の大規模な渡来地となっているほか、タンチョウの繁殖地となっている。
仏沼	青森県 三沢市	222	オオセッカ繁殖地	・ 国指定仏沼鳥獣保護区 仏沼特別保護地区	青森県の東部、下北半島の太平洋側に位置する小川原湖と海岸砂丘に挟まれた干拓地。ヨシを優占種とする低層湿原。オオセッカ、コジュリン、オオヨシゴイなど希少な鳥類の繁殖地及び渡来地となっている。また、水鳥等渡り鳥の中継地ともなっている。
蕪栗沼・周辺水田	宮城県 栗原市 登米市 田尻町	423	大規模マガン等ガンカモ渡来地	・ 国指定蕪栗沼・周辺水田 鳥獣保護区蕪栗沼特別保 護地区	宮城県の北部に位置する。北上川の支流である旧迫川の氾濫源に形成された自然遊水池の沼及びその周囲の水田地帯である。マガン、オオヒシクイ、オオハクチョウ及びカモ類の越冬地として全国でも最大級の規模を持つ。
尾瀬	福島県 檜枝岐村 群馬県 片品村 新潟県 魚沼市	8,711	高層湿原	・ 日光国立公園特別保護 地区及び特別地域	東京の北方約140kmに位置。尾瀬ヶ原及び尾瀬沼を中心とする集水域の山岳、森林及び小規模な湿原で構成。尾瀬ヶ原は高層湿原を主体とする湿原としては我が国最大。トンボ類や甲虫類の多様性も高く、周囲の山岳と湿原が織りなす景観は広大で美しく、季節により様々な花が見られるなど湿原特有の動植物に恵まれた貴重な自然環境を持つ。
奥日光の湿原	栃木県 日光市	260	高層湿原	・ 日光国立公園特別保護 地区及び特別地域	栃木県の北方に位置。戦場ヶ原、小田代原、湯の湖及び湯川で構成されている。戦場ヶ原は本州最大級の高層湿原である。小田代原は湿原から草原へと遷移過程にあり、湿原と草原の双方の特色を持っている。湯の湖は周囲3kmほどの湖で、湖底からは湯元温泉の温泉水が湧き出している。

登録湿地名	所在地	面積 (ha)	湿地の特徴	保護の形態	湿地の概要
三方五湖	福井県 若狭町 美浜町	1,110	固有魚類生息地	・若狭湾国定公園特別地域	福井県の南西部に位置。若狭湾沿いのリアス式海岸に所在する湖の集まりであり、三方湖、水月湖、菅湖、久々子湖及び日向湖の5つの湖から成る。湖はすべてつながっているが、それぞれ塩分濃度や面積、深さが異なる。このため、5つの湖には異なる魚種が生息する。また、タモロコ、イチモンジタナゴ等の固有種の魚が生息する。
串本沿岸海域	和歌山県 串本町	574	非サンゴ礁域のサンゴ群集	・吉野熊野国立公園海中公園地区 及び普通地域	和歌山県の南端部周辺のサンゴ群集が見られる海域。当該海域は黒潮の強い影響下にあり、本州中部という非サンゴ礁域に位置しながら熱帯性生物群集が豊富に見られる。特にサンゴは被度・多様性がともに高く、学術的に重要な群集が多い。
中海	鳥取県 米子市 境港市 島根県 松江市 安来市 東出雲町	8,043	大規模コハクチョウ・ホシハジロ・キンクロハジロ・スズガモ渡来地	・国指定中海鳥獣保護区 中海特別保護地区	鳥取県と島根県にまたがって位置する汽水湖。面積は我が国で5番目に大きく、様々な海藻類、魚類及び貝類が生息する。我が国でも最大級のガンカモ類の越冬地であり、ハクチョウ類、シギ・チドリ類、猛禽類等の渡りの中継地及び越冬地である。
宍道湖	島根県 松江市 出雲市 斐川町	7,652	大規模マガン・スズガモ渡来地	・国指定宍道湖鳥獣保護区 宍道湖特別保護地区	島根県の東部に位置する汽水湖。面積は我が国で7番目に大きく、周囲は45kmある。我が国でも最大級のガンカモ類の越冬地であるとともに、食用のヤマトシジミが多く生息することで知られ、その漁獲量は日本一である。
秋吉台地下水系	山口県 秋芳町 美東町	563	地下水系・カルスト	・秋吉台国定公園特別地域	山口県の中央部に位置。日本では最大規模のカルスト地形。地下水系は秋芳洞を始めとする多くの洞窟や洞窟内の見事な洞窟生成物を作り出している。洞窟内にはユビナガコウモリ等6種類のコウモリや、アキヨシシロアヤトビムシ等の洞窟性動物が生息する。地下水はホラアナミジンコ類、ミジンコ類等地下水棲貝類の種の多様性が高い。
くじゅう坊ツル・タデ原湿原	大分県 竹田市 九重町	91	中間湿原	・阿蘇くじゅう国立公園特別保護地区及び特別地域	大分県の西部に位置。タデ原及び坊ツルの2箇所は湿原からなる。九重火山群に囲まれた盆地状の土地や山麓湧水地に形成された中間湿原である。山岳地に形成された中間湿原としては国内最大級の面積を有し、多様な地質・地形を反映した植生が分布。
蘭傘田池	鹿児島県 薩摩川内市	60	ベッコウトンボ生息地	・蘭傘田池ベッコウトンボ生息地保護区管理地区	鹿児島県の北西部に位置。標高300mに位置する火口湖である。湖の北西部はツルヨシ、マコモ等からなる低層湿原になっており、多数の泥炭質の浮島が存在する。希少種のベッコウトンボをはじめとするトンボ類が多数見られる。
屋久島永田浜	鹿児島県 上屋久町	10	アカウミガメ産卵地	・霧島屋久国立公園特別地域	鹿児島県の屋久島北西部に位置。当該区域は島内最長の砂浜である。砂浜は2つの部分に分けられ、永田川河口を挟んで南側に延長約1km、北側に延長約2kmの範囲となっている。アカウミガメが北太平洋で最も多く上陸し産卵する。
慶良間諸島海域	沖縄県 渡嘉敷村 座間味村	353	サンゴ礁	・沖縄海岸国定公園海中公園地区	沖縄本島から20～40km西方に位置。大小の島々からなる慶良間諸島の沿岸域。よく発達した裾礁が中心となっている。海中にはテーブル状、枝状、角状、塊状、被覆状等の造礁サンゴが高い密度で分布。また、スズメダイ類、チョウチョウウオ類、ベラ類等の色彩豊かなサンゴ礁特有の魚類が豊富に生息。
名蔵アンバル	沖縄県 石垣市	157	マングローブ林・河口干潟	・国指定名蔵アンバル鳥獣保護区名蔵アンバル特別保護地区	沖縄県石垣島西部に位置。名蔵川河口部の干潟及びマングローブ林を中心とした地域。亜熱帯地域における典型的かつ多様な自然環境がまとまって存在。シギ・チドリ類などの水鳥、八重山諸島特有の猛禽類、森林性鳥類等多様な鳥類の生息地となっている。また、底生動物、甲殻類等の多様性が高い。

# ○ラムサール条約湿地・登録地 位置図



凡 例		
●	既登録地	13カ所
●	新規登録地	20カ所